



南の躍動

第 3 号



奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進

大島教育事務所 令和4年11月2日

学力向上は授業改善から、日々の授業を大切に ～令和4年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～

今年度4月19日(火)に、小学校6年生(国語、算数、理科)と中学校3年生(国語、数学、理科)を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。

□ 全国学力・学習状況調査結果(全国及び鹿児島県の平均正答率)

校種	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
鹿児島	66	63	67	69	47	49
全国	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	49.3

【鹿児島県の結果について】

- 小学校の結果は、理科が全国平均を上回りました。国語と算数は、全国平均とほぼ同等でした。
- 中学校の結果は、国語と理科が全国とほぼ同等だったものの、数学が3回連続で下回る結果となりました。

【大島地区の結果について】

- 小学校理科が全国平均を上回りました。一方、小学校のその他の教科及び中学校のいずれの教科においても下回る結果となりました。
- 全国と比べて、特に課題が見られた内容・領域は、国語では「話すこと・聞くこと」「読むこと」、算数・数学では「変化と関係・関数」「図形」、理科では「生命」「粒子」等でした。

学力向上に向けて必要なことは、何と言っても授業改善です。令和3年度の鹿児島学習定着度調査の児童生徒質問紙の結果から、教師による説明を聞く活動が多い授業が見られることが分かっています。発問・指示を精選し、児童生徒が「考える」時間を確保することが必要です。また、「確かめ・見届け」の10分を確保し、本時で学んだことを深めたり広げたりすることができるようにすることも欠かせません。授業づくりについては、ぜひ、「大島の教育Pamphlet」や「学力定着に向けたリーフレット」も参考にしてください。

児童生徒の学力向上のために、日々の授業を大切にして、更なる授業改善に取り組んでほしいと思います。

「体カアップ! チャレンジかごしま」前期ランキング

仲間と楽しく協力し合いながら記録に挑戦する「体カアップ! チャレンジかごしま」の前期結果が、鹿児島県教育委員会のホームページに公開されました。この「体カアップ! チャレンジかごしま」の実施種目は、小学校7種目、中学校5種目あり、学校や児童生徒の実態に応じて種目を選択して取り組むことができます。

令和4年度(前期)の大島地区の取組状況は小・中学校ともに昨年度を上回り小学校90.3%、中学校69.5%でした。今後も仲間と楽しく協力し合いながら記録に挑戦することで、体力の向上が図られるとともに、学級の絆がより深まります。そのため、後期は取り組む学校が更に増えることを期待しています。

【前期県10位以内にランキングした学校数】小学校31校、中学校15校



環境教育の取組紹介

令和3・4年度鹿児島県教育委員会指定「環境教育」研究協力校 公開研究会

1 期 日：令和4年12月9日（金）

2 会 場：宇検村立阿室小中学校

3 研究主題

持続可能な社会づくりに向けて、自分の考えをもって行動し、表現・発信する児童生徒の育成
～世界自然遺産の島 奄美の自然・文化を生かしSDGsを目指す環境教育～

4 取組紹介

世界自然遺産の島・奄美大島の自然と文化を体験を通して深く学び、自分の考えを表現・発信します。横断的・総合的な学習として環境教育に取り組むことで、各教科等の学びの力も高まりました。校内には、環境学習・SDGsの学びのための素材や学習の軌跡があふれています。人、もの、自然との「つながり」を重視し、社会との連携及び協働により「社会に開かれた教育課程」を目指す実践事例を紹介します。阿室小中学校に来て、見て、体感して、一つでも取り入れて、自校の環境教育・SDGsの学びに生かしていただければ幸いです。

5 活動の様子



【阿室川の生物調査】



【稲作体験活動】



【創作島唄学習】

令和4年度大島地区ジュニア・リーダー研修会

令和4年7月27日(水)に、県立奄美少年自然の家において、9市町村20人の参加者を迎え、標記研修会が開催されました。当初は1泊2日の日程で計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防及び台風発生・接近のため、1日のみの日程に変更して開催しました。

例年であれば、様々な交流活動等を通してお互いを知り、より交流を深めていきますが、今回は時間的な制約もあり、例年どおりとはいきませんでした。しかしながら、講義や演習、グループ討議、レクリエーション指導法等、多岐に渡る活動を通して、ジュニア・リーダーとしての心構えや組織の運営等に関する知識・技能等を学ぶことができました。

【参加者の感想】

- ・ ジュニア・リーダーはどんなことをすべきか、何のためにいるのか分かった。みんなを引っ張っていけるリーダーになりたい。
- ・ 思い込みで決めつけるのではなく、どんな意見もしっかりと聞くことが大切であると知った。
- ・ 目標やテーマに向けて、どのように話し合いをし、物事を決めていくのか参考になった。



【人権教育】

奄美の文化財等 ～大和浜のオキナワウラジロガシ林～

大和村役場の後方には通称「瀧ノ川山（たきのこやま）」と呼ばれる神山があります。ここは、古くから大和浜集落で保護されてきました。上水道施設ができるまでには水源滋養林として、また斜面崩壊から集落を守る森林として大切にされていました。戦後の混乱期において、周囲の山林が伐採されたものの、大和浜の人々は、瀧ノ川山を神山としてあがめ伐採を許しませんでした。伐採を免れた林は大木が残り、オキナワウラジロガシは胸高直径1mを超える巨木を筆頭に直径50cm以上の大木が100本以上斜面に群落を形成しています。平成20年3月28日に国指定・天然記念物として「大和浜のオキナワウラジロガシ林」として指定されました。現在は、奄美豪雨で土砂が流れ被害が出たため、遊歩道の入口に砂防ダムが作られています。



【大和村教育委員会提供資料】

